

# Crescendo

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

Vol.110



雅楽



青年団「銀河鉄道の夜」

ピアノを聴く～6手の響演



©堀田力丸

©武藤章

©新津保律秀



雅楽～神話の国で聴く悠久の調べ

ピアノを聴く～6手の響演

21世紀は彼の時代!カプースチン!

青年団「銀河鉄道の夜」

リーディングナウ2013

メディキット 県民文化センター

公益財団法人 宮崎県立芸術劇場

# 巨匠たちが語る 宮崎国際音楽祭

今年の宮崎国際音楽祭には、1万5千人を超えるお客様に来ていただきました。18年にわたる宮崎国際音楽祭の歴史の中で、2番目に多いお客様の数でした。主催者の一人として心からお礼を申し上げます。

演奏会は内容によってホールが大きさが異なりますので、お客様の数がそのまま人気や評価にはつながりませんが、入場者の多かったベスト3をご紹介しますと、演奏会〔1〕「華麗なるオペラの世界」、演奏会〔5〕「ズーカーマン 巨匠が奏でる名曲のフィナーレ」、演奏会〔3〕「ミッシャ・マイスキー 協奏曲の夕べ」の順でした。

「華麗なるオペラの世界」は、ソプラノの中嶋彰子さん、テノールの福井敬さんとともに、宮崎県合唱連盟有志140人の皆さんに参加して頂いて、コンサート形式による初めてのオペラの上演でした。「人間の声がこんなに素晴らしいとは驚いた。宮崎の合唱団も素晴らしい」など称賛のアンケートを数多く頂きました。合唱団の皆さんには、イタリア語やドイツ語の発音から始めて、長期にわたるリハーサルに参加して頂き心から感謝しています。

「ズーカーマン 巨匠が奏でる名曲のフィナーレ」は、今回の音楽祭の最後を締めくくる演奏会でしたが、ヴァイオリンの巨匠であるとともに、指揮者としてのズーカーマンの姿も見て頂きました。故アイザック・スターンの一番弟子として第6回宮崎国際音楽祭に参加して以来、今回が5回目の来宮でしたが、この音楽祭を高く評価して次のようなメッセージを残してくれています。

「宮崎には何度来てもホールの素晴らしさ、オーケストラの素晴らしさに感銘を受けます。ここで演奏できますことを、毎回とてもうれしく、名誉に思っています。音楽祭がもうすぐ20周年を迎えると聞き、とても感慨深いです。宮崎が今後さらに音楽にあふれる、素晴らしい町になりますように心から願っています。20周年記念のガラ・コンサートが今から楽しみです。」

「ミッシャ・マイスキー 協奏曲の夕べ」で、チャイコフスキーの歌劇「エフゲニー・オネーギンよりレンスキーのアリア」や、同じくチャイコフスキーの「ロココの主題による変奏曲」などを演奏したチェロの巨匠マイスキーは、初めて参加した宮崎国際音楽祭について次のような感想を伝えてくれました。

「宮崎のホールは、まさに予期せぬ喜びでした。なんとという豊かな響きなのでしょう。そして、暖かな聴衆はホールのかげがえのない宝です。オーケストラについては、お世辞ではなく、ベルリンやウィーンに勝るとも劣らない演奏に驚くばかりでした。徳永さんがこの素敵な音楽祭を続けてこられた陰には、様々な苦勞もあるに違いないのですが、何も語らずに感謝の言葉をかけて頂きました。期待に沿う演奏が出来たのなら、演奏家としてこれ以上幸せなことはありません。」

公益財団法人  
宮崎県立芸術劇場理事長 青木 賢児



# 宮崎県立芸術劇場 いよいよ開館20周年！

## 多くの出演者・お客様に愛されて、今年で20歳

宮崎に音楽のあふれるホールを——そんな思いから宮崎県立芸術劇場が開館したのは、1993年の11月。今年で開館から20年、人間でいえば成人を迎える節目の年を迎えます。

当劇場には、①クラシック音楽専用のコンサートホール②演劇やオペラに最適な演劇ホール③多目的な公演に合わせたイベントホールという色彩の異なるホールがあります。この3つの空間で、いくつもの笑顔や感動が生まれてきたのも、これまでに出演された国内外の演奏家や俳優、ダンサーの方々をはじめ、公演に御来場いただいたたくさんのお客様、また日々の研鑽を発表するなどホールや施設をご利用いただいたお客様があつてのことです。おかげさまで、全国でも有数の芸術文化施設として発展することができました。

## 20周年記念公演～これまでの感謝をこめて～

この節目の年に、20年分の感謝の気持ちをこめて、当劇場では3つの記念公演をご用意しました。

◇チェコ・フィルハーモニー管弦楽団……毎回高い人気を誇る海外オーケストラ公演は、やはり外せない大切な公演。中でも弦楽器をベルベットのよう美しく響かせると高く評価されるチェコ・フィルハーモニー管弦楽団の宮崎公演を、11月に予定しています。

◇開館日フェスタ……当劇場始まって以来となる劇場全体をつかったイベント「開館日フェスタ」を初めての試みとして鋭意企画中です。詳細は次号でご紹介します（乞うご期待！）。

そしてもうひとつ、当劇場がこれまで力を入れてきた日本伝統音楽公演のうち、開館の1993年度以来となる雅楽がふたたび劇場に響きます。9月に開催されるこの音楽の世界について、今回少しだけご紹介します。

# 雅楽～神話の国で聴く悠久の調べ

## 記紀編さんの時代から変わらない音楽文化

「雅な音楽」という字の通り、雅楽は高尚で正統・特別な音楽というイメージがあり、私たちの生活からは遠い存在とも言えます。その歴史は古代にさかのぼり、長い間、天皇や貴族社会を中心に親しまれてきました。雅楽が現在の形態と近い形になったのは、大陸の文化が日本に伝わった奈良～平安時代、なんと記紀が編さんされた約1300年前なのです！日本古来の歌舞に、古代シルクロードの音楽文化が大量に流入。西暦701年、大宝律令により「雅楽寮」が設置され、音楽の「継承と教育」を管理するようになりました。記紀編さんの時代は、平成の現代よりはるかに「音楽情報過多社会」であることは、多くの古文書に記載されています。それ以来、ほぼ形を変えずに伝承されていることから、現在の雅楽とほとんど同じものを記紀編さんの時代の人々も観て聴いていたということになります。

## 雅楽って一体どういう仕組み？

雅楽には、オーケストラのように器楽演奏の「管絃」と、舞をともなう「舞楽」があります。現在使用されている楽器も大陸伝来当時に近いものが多く、今では日本にしか古来の姿では存在しないものが数多くあります。例えば、他の国では楽弦が金属になったり、演奏しやすいように変形したり金属キーが加えられたりと、全く原型を留めていないものがほとんど。その意味でも世界的にみて非常に貴重な音楽なのです。

日本雅楽「管絃」は管、絃、打楽器による「世界最古のオーケストラ」で、右図に紹介されているようなスタイルで合奏します。管絃オーケストラですので指揮者の役割を担う鞆鼓奏者がいます。西洋オーケストラの指揮者と違い、「指揮をしています」と目立つことはしません。管絃演奏の始終に鞆鼓奏者だけがお辞儀をします。謙虚な指揮者です。ちなみにカーテンコールもしません。更に謙虚です。

また、雅楽は大きく三つの分野に分けられています。①日本古来の音楽「国風歌舞」、②古代シルクロードから流入した「外来音楽」、③平安期以降

日本で作られた「創作音楽」です。西暦840年「楽制改革」により②、③を中心に楽曲は左方と右方に分類されました。左方は唐（現在の中国）経由で流入した音楽「唐楽」と呼び、朝鮮半島経由で流入した音楽を「高麗楽」と呼びます。舞楽の装束も、左舞は赤色系統、右舞は青緑色系統の装束にし、目でもその違いを確かめることができます。

## いにしへの音色に思いを馳せて…

今回は、代表的な「越天楽」をはじめとする管絃を3曲と、舞楽一番人気の「蘭陵王」、竜が楽しげに遊ぶ舞「落躰」の舞楽2曲をご紹介します。また、演奏に先立って出演者と当劇場の青木館長が登場するプレトークを予定していますので、「雅楽ってどう聴けばよいか分からない」という方も大丈夫！説明を交えながらその楽しみ方をご案内します。

現在も皇居内などで演奏している現役の宮内庁式部職楽部メンバーを中心とした東京楽所による演奏で、皆さまを古の世界へと誘います。千数百年を超えるロマンと楽器が奏でる豊かな音色、そして舞人の優雅な動きと鮮やかな装束……さまざまな魅力あふれる雅な世界を、ぜひこの機会に劇場でお楽しみ下さい。



楽太鼓



**龍笛(りゅうてき)**  
竹製の横笛。長さ約40cmで穴は7つ。その名前の通り、音色は「空を舞う龍の鳴き声」と例えられる。

**楽箏(がくそう)**  
邦楽の箏より厚みが薄く、爪は竹の節の部分で作った細いものを使います。

**鉦鼓(しょうこ)**  
雅楽では唯一の金属打楽器です。太鼓にやや遅れ、かわいらしい音色を奏でます

**楽太鼓(がくたいこ)**  
舞台の最前列中央でリズムを刻みます。右手で叩くのは力強く男撥(おぼち)、左手で叩くのは優しく女撥(めぼち)と叩きわけます。

## 箏篋(ひちりき)

長さ約20cmの小さな楽器。音域はせまく、人間が話す声の範囲とほぼ同じで、「地上にこだまする人々の声」と例えられる。

## 管絃の演奏配置

※曲目によっては、楽器の種類、配置が異なります

**鳳笙(ほうしょう)**  
笙の形は、極楽に棲むという伝説の鳥「鳳凰」が翼をたたんで休んでいる姿とも。音色は「天から差し込む光」と例えられる。

**楽琵琶(がくびわ)**  
琵琶の中では最も大きく、水平に構えて演奏する。リズムやアクセントを刻みます。

**鞆鼓(かつこ)**  
演奏は台の上に横置きにのせて、2本のバチで打ちます。合奏の指揮者の役目を持ち、曲のリズムやテンポを統括する楽器です。

## 雅楽公演によせて

おの 多 忠輝(宮内庁式部職)  
野原耕二(音楽プロデューサー)

いにしへの日本文化発祥の地での雅楽公演たいへん楽しみにしています。

古事記編さん時代の日本は、平成の現代より音楽情報過多社会でした。西暦701年の大宝律令で、治部省に設置された雅楽寮は、わが国古来の音楽と、中国や朝鮮半島から伝来した外来音楽を宮廷音楽として司り、西暦840年、楽制改革のもと約一世紀をかけ、平安期に「日本雅楽」として編纂いたしました。

当時のヨーロッパ大陸は、初期教会音楽の時代。西洋バロックオーケストラが確立される17世紀以前に、私たちの祖先は管絃=オーケストラ、舞楽=パレエによる音楽舞台芸術を確立いたしました。千数百年の歴史に育まれた日本伝統音楽「雅楽」は、世界最古の管絃オーケストラです。

公演の第一部は、宮崎県立芸術劇場の青木館長にもご登場いただき、3名によるプレトークで、これから聴く雅楽の魅力をお伝えします。

第二部では、管絃の楽器紹介、平調音取(管絃のチューニング)から始まります。雅楽曲の定番でもある「越天楽」と古代インド音楽の「陪臚」を平調(E[ミ])の音からはじまる調)のチューニングで楽しんで頂きます。

第三部 舞楽は、左舞(唐楽)と右舞(高麗楽)を1曲ずつ演奏します。古代シルクロードの面舞=マスクダンスです。

「陵王」は、黄金のマスクで舞う、いにしえより一番人気の面舞。装束の美しさ、その楽しい物語性は舞楽の定番です。「落躰」は、竜が楽しげに遊ぶ姿を模す舞。二人で舞うときは「納骨利」と言い、舞様のトリッキーな動きが大変楽しい舞です。

東京楽所、初めての日本文化発祥の地「宮崎公演」、敬意を払いつつ「世界に誇る音楽文化=日本雅楽」をお楽しみください。

## 公演情報

**雅楽～神話の国で聴く悠久の調べ**  
9月15日(日) 開場13:30 開演14:00  
【出演者】東京楽所  
【曲目】越天楽、陪臚、蘭陵王 ほか  
【会場】演劇ホール  
【入場料】全席指定  
S席3,000円 [会員2,700円] A席2,000円 [会員1,800円]  
学割(小学生～大学生)1,000円 ※A席のみ

飛び出すこどもブンガクシリーズ #7

# 青年団 銀河鉄道の夜

国内外で最先端の活動をしているカンパニーが、児童文学を原作にした作品を上演する「飛び出すこどもブンガクシリーズ」。今年は、東京目黒区にある「こまばアゴラ劇場」を拠点に、世界で活躍する劇団「青年団」がやってきます。

## 成長のものがたり

原作を書いた宮沢賢治は、人々への温かいまなざしや豊かな詩的イメージに溢れ、たくさんのお優しい詩や童話を残しました。ジョバンニとカンパネラが銀河を走る鉄道に乗り、星座を巡りながら様々な人に出会って、「ほんとうのしあわせ」を探す旅をするこの「銀河鉄道の夜」もそうした童話のひとつです。作品が持つ豊かさからいろいろな解釈がなされ、幾度となく舞台化、映像化されてきました。

7月に上演される『銀河鉄道の夜』は、フランスの国立演劇センターが平田オリザさんに依頼をして、フランスの子どもたちに向けてつくられた作品です。そのため、原作を知らなくても理解してもらえるように「友人の死を受け入れることで成長していく少年の物語」というシンプルな構成で舞台化されました。こうした、言語が違う他の国でも『銀河鉄道の夜』の魅力を伝えていくための工夫が、この作品をより普遍的なものにしています。

今回上演されるのは2011年にフランスで上演されたあと、2012年に新たに作られた日本語版の『銀河鉄道の夜』です。

## 宮沢賢治の魅力が詰まった『銀河鉄道の夜』

岩手県で生まれ、生涯の多くの時期を岩手で過ごした宮沢賢治は、その土地の農民と触れ合いながら、芸術の力を信じて「われらは世界のまこ



## 飛び出すこどもブンガクシリーズ

「国内外の優れた児童文学作品をベースに舞台化したお芝居やダンス」を毎年1作品お届けするシリーズです。

## 青年団

青年団は、劇作家・演出家・こまばアゴラ劇場芸術監督の平田オリザを中心に、1982年に結成された劇団。1980年代からこまばアゴラ劇場を拠点とし、平田オリザが提唱した「現代口語演劇理論」を通じて、新しい演劇様式を追求してきた。この実践的で新しい演劇理論は1990年代以降の演劇界に強い影響を与え続けている。1990年代には日本全国に、2000年以降は、ヨーロッパを中心とした世界各地にも活動の場を広げ、近年では国内・海外問わず各地の劇場・アーティストとの共同製作公演を行うなど、着実に成果をあげている。また、子ども向け・親子向け作品やロボット研究との協働「ロボット演劇プロジェクト」にも取り組み、演劇・劇場を広く開く活動を積極的に展開している。

との幸福を索ねよう」と記しました。そして、その言葉が書かれた同じ文章のなかで、こうも記しています。

誰もみな芸術家たる感受をなせ 個性の優れる方面に於て 各々止むなき表現をなせ 然もめいめいそのときどきの芸術家である

＊ まづもろともに かがやく宇宙の微塵となりて 無方の空にちらばらう しかもわれらは各々感じ 各別各異に生きてゐる

(『農民芸術概論』)

汽車や星座はもちろん、「星めぐりの歌」やドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」などが登場する『銀河鉄道の夜』は、科学だけでなく、音楽や演劇、美術などの芸術にも造詣の深かった宮沢賢治の思いや魅力が目一杯に詰まった作品と言えるでしょう。

ギリシャ語で人々が集う「広場」という意味の言葉を名前に持つ「こまばアゴラ劇場」と、そこを拠点に活躍する劇団「青年団」から誕生した『銀河鉄道の夜』。

2012年度に東日本大震災で被災した東北3県を含む全国を旅したこの作品が、宮沢賢治の没後80周年となる今年、宮崎にやってきます。

※写真：青年団公演『銀河鉄道の夜』より



### 公演情報 飛び出すこどもブンガクシリーズ #7

#### 青年団『銀河鉄道の夜』

7月6日(土) 開場13:30 開演14:00

【原作】宮沢賢治

【作】平田オリザ

【出演者】井上みなみ 村田牧子 高橋智子 小林亮子 中村真生

【会場】イベントホール(全席自由)

【入場料】一般2,500円 [会員2,300円] 学割(小学生~大学生)1,000円 セット券(一般+学割)3,000円 ※セット券は前売りのみ

### Message

#### 宮崎公演によせて 平田 オリザ

この『銀河鉄道の夜』は、もともとフランスの子どもたち向けに作った作品です。宮沢賢治を知らないフランスの子どもたちに、どうか、この物語を楽しんでもらおうと様々な工夫をしました。

『銀河鉄道の夜』は、色々な読み方のできる作品ですが、フランスの子どもたちのために、「友人の死を受け入れて成長していく男の子の物語」として、私はこの作品を舞台化しました。そしてそのことが、東日本大震災以後に、この作品の日本語版を作り、また被災地を回っていく上で、大きな重みとなったように思います。

宮崎の皆様にも、楽しんでいただければと願っています。



## 時間よ、とまれ。 宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター 永山 智行

時間どろぼう、って本当にいると思うんですよね。時代が進んでいるんなものが便利になり、例えば、洗濯や、料理や、連絡にかける時間、そんなものは、この50年で本当に短くなったと思うんです。ならばその分、一日の中でも時間の余裕ができるはずなのに、いま、本当に多くのおとなが、日々「忙しい、忙しい」を口ぐせにしなが、明日や来週の予定にせっつかれながら、そして「いま」を味わうこともなく、つんのめり

ながら、生きています。なんなのでしょう、これは。

ミヒヤエル・エンデの童話「モモ」の中の、時間どろぼうたちがそうしたように、儉約すればするだけ「時間がない」と感じるようになっていくとしか、思えないのです。わたしたちは誰かに時間を盗まれている、と。「スピード感が足りない」「世界においていかれる」「強力なりーダーシップを」などと言い立てる人たちが、どうも怪しいんじゃないか、とわたしは思っているのですが、

いづれにしろ、立ち止まって、ちょっと一息ついて、ゆっくり考えてみる、ということをしなないと、いつのまにか、時間どろぼうの一味に加わり、子どもたちから時間を盗んでしまっていた、なんてことがこの身にも起きかねないと思うのです。

時間どろぼうたちから、みんなの時間を取り戻した少女モモが住んでいたのは、劇場でした。そのことは、劇場に関わるわたしたちに勇気をくれます。そうなのです、こは、「立ち止

## リーディングナウ2013

# 『エピローグ?』

昨年からはまった「リーディングナウ」シリーズの第2弾は、岡崎藝術座の神里雄大さんを演出に迎え、3.11の福島での原発事故を受けて書かれた異色のドラマに挑みます

### 今、上演することの意味

今回の演目にこの作品が決定するとき、演出の神里氏と演劇ディレクター・永山氏は、「上演するなら、今」という意見で一致していました。この作品の作者エルフリーデ・イエリネクは、作品名で「エピローグ」に「?」を付け加えています。

「エピローグ」という言葉を辞書で調べると、おおむね次のような解説が書かれています。

- ①西洋演劇で芝居の最後に俳優の一人が述べる閉幕の辞。
- ②詩、小説、戯曲などの終わりの章。転じて、物事の終わりの部分。
- ③書物の最後に記す言葉。あと書き。跋文(ばつぶん)。
- ④楽曲や楽章の小終結部。

(『日本国語大辞典 第二版第二巻』小学館)

『Fukushima-Epilog』というインデックスでこの戯曲がイエリネクのホームページに掲載されたのは、東日本大震災から一年を迎えた日の翌日の2012年3月12日。この作品は、読む者に問いを提示しているのです。「本当に終わったのか?」と。

### 手がかりとなるもの

この作品を創作上演するにあたっての本質的な課題は、福島からの距離や震災による被害の有無ではありません。手がかりは、震災と原発事故を経て日々生活している私たちの意識や感覚を丁寧に見つめ直すことにあります。

イエリネクは現地をたずねることなく、彼女が住むオーストリアで知りえた膨大な情報と自身が持つ文学的、演劇的蓄積からこの作品を書きあげました。おそらく、オーストリアで震災や福島原発事故に関する報

演出家、作家、岡崎藝術座主宰  
1982年ベルー共和国リマ生まれ。2003年早稲田大学在学中に岡崎藝術座を結成。舞台上での俳優の存在をことさらに強調する演出を特徴とし、現在に至るまで40本に及ぶ演出作品を発表している。2006年「しっぽをつかまれた欲望」(作:パブロ・ピカソ)で利賀演出家コンクールにて、最優秀演出家賞を最年少で受賞。09年「ヘアカットさん」が第54回岸田國士戯曲賞に最終候補ノミネート。2009年、白神ももこ(振付家・ダンサー)と、新ユニット「鱒[hatahata]」を結成。演出のほか、近年は絵、詩の分野においても作品を発表している。  
Web <http://okazaki-art-teatre.com/>  
twitter <https://twitter.com/kamisatoy>



神里 雄大



写真：リーディングナウ2012『時計屋の恋』(作・演出：吉田小夏)より

道を見聞させた結果、作家としてこの作品を書かざるをえなかったのでしょう。

『エピローグ?』は一般的な演劇の台本と異なり、ひたすらモノローグ(独白)が続きます。特定の役もありません。まるで詩が書き連ねられているようです。

そこに綴られた言葉には、あの時、そして今も私たちが抱えている不安や恐怖感が込められています。

＊エルフリーデ・イエリネク：オーストリアの作家。2004年、ノーベル文学賞受賞。

## リーディングナウシリーズ

オーディションで選ばれた出演者によるリーディング(朗読劇)公演です。このシリーズでは、国内外で活躍する新進気鋭の演出家を招き、約1週間の稽古ののちに公演を行います。

### 公演情報 リーディングナウ2013

#### 『エピローグ?』

8月24日(土) 開演19:00、25日(日) 開演14:00

【作】エルフリーデ・イエリネク

【演出】神里雄大(岡崎藝術座)

【出演者】岩陽子 奥野はる菜 かしのともこ 神門明日香 斎藤建郎 下水流いつみ 田原運海 原田明子

【会場】イベントホール(全席自由)

【入場料】一般1,500円 [会員1,300円] 学割(小学生~大学生)1,000円

### Message

#### 創作によせて<エネルギーを取り出す> 神里 雄大

鹿児島中央行きの特急きりしまの車内でこれを書いている。昨日、リーディングの出演者オーディションをして、さまざまな人に会って、いまは選考に頭を悩ませているところ。ところで、宮崎駅で乗りかかった電車に乗り遅れたので、気まぐれに都城まで在来線に来て、次の特急までの時間を使って、駅前のスーパー銭湯に行った。サウナに入りながら、『エピローグ?』のことをぼーっと考えていた。何もアイデアは出なかった。という昨日霧島を飲みすぎたせいで頭がいたい。駅に戻ると、駅には「私たちは負けないー東日本大震災、新燃岳噴火、鳥インフルエンザ、口蹄疫」と書かれた横断幕がでかかど掲げられていた。負けないとはどういうことなのだろうということをお私(たち)はこの何年か、考えてきたのかもしれない、と思った。あるいは、考えざるをえなかった。

イエリネクの戯曲は膨大なエネルギーが極度に圧縮されたような言葉で構成されている。それはとても強力で取り扱い注意である。けれども私たちにだって、そのくらのエネルギーは蓄積されているんじゃないかと思う。日常を送ることをさぼってなければ。

### その他の「演劇・ダンス」 2013~2014シーズンラインナップ

#### 「えんげき・とれたて新鮮市」 宮崎の若い演劇人たちの短編作品集『まる、いす #1』

田上パル(東京)『報われません、勝つまでは』 作・演出：田上豊  
日程：10月13日(日)、14日(月・祝) 会場：イベントホール・演劇ホール舞台上舞台

#### SPAC『忠臣蔵』

作：平田オリザ  
演出：宮城聰(SPAC芸術総監督)  
日時：12月26日(木)開演19:30  
会場：演劇ホール

#### 「演劇・時空の旅」シリーズ #6

1897年/フランス『シラノ・ド・ベルジュラック』  
作：エドモン・ロスタン 訳：辰野隆・鈴木信太郎(岩波書店刊)  
構成・演出：永山智行  
日時：2014年2月7日(金)開演19:00、8日(土)開演19:00  
9日(日)開演14:00  
会場：イベントホール



プレミアムセレクトコンサート  
Premium Select Concert #1

# ピアノを聴く～6手の響演

## 3人の実力派ピアニストが奏でる6手の響き

“上質な音楽をあなたに”をテーマに、今年度の新シリーズ「Premium Select Concert」が始動しました。今回は、ピアノの醍醐味を存分にお楽しみいただける第1弾についてご紹介します。

#1「ピアノを聴く～6手の響演」は、その名のとおり“6手”3人の実力派ピアニストの手と3台のピアノによって、掛け合いや対話のおもしろさ、多彩な響きを生み出します。

ピアノは1台で演奏する「ソロ」が一般的ですが、今回はソロ演奏に加えて、ラフマニノフ「2台のピアノのための組曲」や、オーケストラ編成の「ラプソディ・イン・ブルー」を3台ピアノに編曲した作品などをお届けします。ラプソディ・イン・ブルーは、クラシック音楽をテーマとして人気を博したドラマ「のだめカンタービレ」のエンディングテーマとなったこともあるため、耳にさ



【出演者】左から迫、青柳、江口

### 迫 昭嘉 (ピアノ)

ジュネーヴ国際コンクール最高位、ハエン国際コンクール第1位並びにスペイン音楽賞受賞。気品ある音色と透明度の高いリリシズムで注目を集め、日本国内はもとより、ヨーロッパ、カナダ、アジアで活躍。室内楽奏者、指揮者としても高い評価と信頼を得ている。宮崎県都市出身

れたことがある方も多いと思います。オーケストラで演奏されることが一般的なこの作品を、3台のピアノ(6手)で弾くとどのような響きになるのか、是非お楽しみに！  
出演者の3人は、東京藝術大学で教鞭を取る実力派ピアニスト。息を合わせる事が重要なアンサンブルでも、普段から仲の良い3人が作り出す呼吸の合った演奏をお楽しみください。出演者の1人である迫昭嘉さんは宮崎県都市出身。郷里へ仲間を引き連れての本公演についてコメントが届いています。

### Message

#### 故郷での演奏が楽しみ 迫 昭嘉

両親の出身が都市ということもあって、私にとって宮崎の演奏会には常に故郷に帰るような想いがあります。今回はめずらしい3台ピアノのコンサートで、3人のピアニストがそれぞれソロを弾いてから、2台ピアノの曲、そして最後に3台のピアノでガーシュイン「ラプソディー・イン・ブルー」という聴きごたえのあるプログラム構成になっています。特に最後のガーシュインは、この宮崎公演のために編曲を依頼しました。共演の青柳さんも江口さんも東京藝術大学での同僚ですので日頃から多くの時間を一緒に過ごしているのですが、なによりお互い音楽家として尊敬し信頼できる仲間同士、このコンサートの出演を3人ともとても楽しみにしています。



©武藤章

### 公演情報 Premium Select Concert #1

#### ピアノを聴く～6手の響演

7月14日(土) 開場13:30 開演14:00

【出演者】青柳晋、江口玲、迫昭嘉(ピアノ)

【曲 目】ラフマニノフ:2台のピアノのための組曲 第2番 op.17より  
ガーシュイン:ラプソディー・イン・ブルー(ピアノ3台版)ほか

【会 場】アイザックスターンホール(コンサートホール)

【入場料】全席指定

一般3,000円 [会員2,700円] 学割(小学生~大学生)1,500円

2公演セット券 シリーズ2公演をセットで購入すると5,000円

※ワンドリンク付き

◇シリーズ第2弾は、12月7日(土)「ヴァイオリンを聴く～前橋打子の世界」  
◇シリーズ共通曲目の「J.S.バッハ/シャコンヌ」を、第1弾はピアノで、第2弾はヴァイオリンで、ぜひ聴き比べてみてください。

## '13みやざきの舞台芸術シリーズI

# Classic x Jazz = !? ~21世紀は彼の時代! カプースチン!~

音楽や演劇など舞台芸術に取り組んでいる県内在住者や県出身者が創意に富む公演を披露する「みやざきの舞台芸術シリーズ」。11年目を迎える今年もバラエティーに富んだ3公演を予定しています。

### 『クラシックの新しい世界へ～伝統と革新のコントラスト～』

ニコライ・カプースチン(ウクライナ出身・1937年~)は、クラシックとジャズを融合させた独特の作風をもつ現代作曲家で、これまでに140を超える作品を生み出し続けています。作曲家としては、長らく無名の時代が続きましたが、巨匠ピアニストらが彼の作品を取り上げるようになったことで、その名が世界に知られるようになりました。

また、カプースチン自身が優れたピアニストであることから、彼の作品は、技巧的で高度なテクニックを要するものが多いのも特徴です。

今回の公演は、カプースチンの作品に加えて、ベートーヴェンなど有名な作曲家たちの作品も披露する予定で、バラエティーに富んだ内容となっています。

ポップでソウルなカプースチン流クラシック音楽とベートーヴェンら古き良きクラシックの作品を聴き比べて、クラシックの新たな魅力を感じてみてください。今までになかった斬新な公演になること間違いなしです!

### Message

#### 宮崎公演に向けて 企画者 松本 伸章

現代作曲家、ニコライ・カプースチン。クラシックの形式を取りながら、ジャズの手法を取り入れた斬新な作風で、若手ピアニストを中心に今最も注目を集めています。Classic x Jazz = !? は、そんな彼の魅力にハマってしまった4人のピアニストによって結成され、今年で丁度1年になります。今回はたった1台のピアノで、クラシック作品とカプースチン作品の両者をソロや連弾で演奏し、ポップでシックなコンサートを皆さまにお届けします。お会い出来ますことを出演者一同心から楽しみにしております。

### 公演情報 '13みやざきの舞台芸術シリーズI

#### Classic x Jazz = !? ~21世紀は彼の時代!カプースチン!~

9月28日(土) 開場18:30 開演19:00

【出演者】松本伸章、脇絢乃、恩田佳奈、川岸麻理(ピアノ)

【曲 目】カプースチン:8つの演奏会用練習曲集op.40より、変奏曲op.41  
シンフォニエッタop.49 ほか

【会 場】イベントホール

【入場料】全席自由

一般2,000円 [会員1,800円] 学割(小学生~大学生)1,000円

### みやざきの舞台芸術シリーズ ラインナップ

みやざきの舞台芸術シリーズII「色彩の泉～フルートで奏でる∞の響き～」  
2014年1月18日(土) 開演14:00

みやざきの舞台芸術シリーズIII「劇団あおきりみかん 其の参拾」  
2014年2月22日(土) 開演19:00、23日(日) 開演14:00



川岸 麻理

脇 絢乃

松本 伸章  
(宮崎市出身)

恩田 佳奈

# 藤木大地の Cantabile

Daichi Fujiki

おかげさまでコラム続投のようです。今回はイタリアからお届けします。

今年、生誕200年が世界各地で祝われている、イタリアの偉大な作曲家ヴェルディの「アイダ」というオペラの中に、「凱旋の場」というシーンがあります。とか書くとむずかしそうだけど、つまりアレです。サムライブルーのサッカーの試合でサポーターが肩組んで歌う「オッオー、オオオ、オッオッオー♪」のオリジナルバージョンが、凱旋の場の栄光のトランペットの響きなのです。

音楽家になることを目指して宮崎を離れて15年が経ったけれど、東京や海外でずっと音楽に関わって生活する中で、そこで培ったものや経験は、目標として昔描いたことよりももうずっと大きくなってきていて、こんなに幸せなことはないと思っています。

ぼくの宮崎での公演を観てくださったみなさんは感じてくださっているかもしれない(そうだといいな)けれど、ぼくはそれらの自分の経験と、音楽が持つそのままの力を、より多くのお客さんに“気楽に”楽しんでもらうコンセプトでこれまでコンサートを創ってきました。

ところがです。昨年に「日本音楽コンクール優勝」とい

うありがたい賞をいただき、今年は「ボローニャ歌劇場にデビュー」という、メジャーリーグでスタメン出場みたいなお仕事もゲットして、いよいよふるさととの殿堂・宮崎県立芸術劇場が「凱旋公演いつやるの?今でしょ!」と、声をかけてくださったのである。カウンターテナーの声を、ぼくの伝えたい音楽を、詩人と作曲家の芸術を、2時間たっぷりお届けします。ぜひ楽しみにいらしてください。

2013年!9月8日!アイザックスターンホール!お待ちしております!“いつもの”とまたひと味違う、渾身のソロリサイタル、カミング・スーン!



藤木 大地

2012年、第81回日本音楽コンクール第1位。カウンターテナーとして史上初の優勝者となり、注目を集めた。国際コンクールでの受賞、海外の主要オペラハウスへの出演など、国際的に高く評価されている。宮崎市出身、ウィーン在住。

### 公演情報 フレッシュアーティスト・リサイタル #1

#### 藤木大地(カウンターテナー)リサイタル

9月8日(日) 開場15:30 開演16:00

【曲 目】プリテン:サリー・ガーデン 高田三郎:くちなし ほか

【会 場】アイザックスターンホール(コンサートホール)

【入場料】全席自由

一般2,000円 [会員1,800円] 学割(小学生~大学生)1,000円

親子割 小・中・高校生と保護者の2名セットで購入すると代金から500円引き

※平成25年度イベントカレンダー記載内容から、開場・開演時間に変更となっております。あらかじめご了承ください。

凱旋公演  
決定!

劇場は、「創る」「表現する」「観る」「感動する」「学ぶ」「支える」人でいっぱい

# つながる∞ひろがる

## 「創作ダンス」の未来

んまつーポス『いっすんぼうし』—平成24年度宮崎県立芸術劇場(以下「県劇」)主催公演一が、この5月3日、福岡天神の西鉄ホールで再演されました。なんと第7回福岡演劇フェスティバル初の全国公募枠公演—しかも審査員全員が一押し。県劇プロデュース公演の全国展開のはじまりに、感激!

んまつーポスは体育の「創作ダンス」から生まれたユニットです。実は、県劇が開館した当時、創作ダンスをここで?と誰しもが怪訝な顔。そんな創作ダンスの前に現れたのが、劇場職員のNさん。2003年10月—ベルギーのダンス・カンパニー「ローザス」、同11月—日本のダンス界に旋風を巻き起こした「水と油」、同12月—高橋演出「ダンスが拓く表現の世界—踊るスポーツマン」(県劇委託公演)。わくわくのダンス年でした。

そして今、全ての中学校で「ダンス」必修化。ここは勝負!劇場でダンスを体験した小学生が、中学校で創作ダンスを選択し、将来は家族で創作ダンスを鑑賞する。夢のサイクル実現に向けた県劇と大学のさらなる協働のはじまり、はじまり。



高橋 るみ子 (宮崎大学教育文化学部准教授)

専門: 舞踊学・舞踊教育  
1975年にお茶の水女子大学(「表現体育専攻」)を卒業し、同附属高等学校等の講師を経て、1987年に宮崎大学教育学部(現・教育文化学部)に兼任。  
主な社会的・教育的な活動コンテンツ・ボラリーダンスダンスグループ「踊るスポーツマン」主宰  
宮崎市スポーツ振興審議会委員  
宮崎県女子体育連盟理事長

## 「劇場と歩んだボランティア人生」

文化後進県と言われた宮崎が音楽祭を開催!ボランティア募集中と知り、18年前、応募締切当日に私は一大決心して電話をかけた。

「一般主婦。ゴミ拾いなら出来ます!」ボランティア人生は、華やかな音楽祭の幕開けから始まった。

蝶ネクタイや軽やかなドレス姿。劇場スタッフもボランティアも心一つに結束し、熱意と興奮の中にいた。文字通りA to Zの敬愛すべき巨匠達を私は傍で観てきた。

ト・スターンさんのオーラに驚愕し、講習生に音符の繋がりの大切さを教える姿に敬服。本物の巨匠が間近で微笑んでいた。

宮崎に音楽の咲く季節を運んでくれた巨匠達を思い出すと懐かしさが溢れる。アシケナー・ジさんのお茶目振り、デュトワさんの大編成演奏会など、過去に開かれていた巨匠達の講習会は誠に興味深い。時が経ち、一昨年の大震災の際はズーカマンさんの心意気に敬服した。「何故ボランティアを続けているのか?」とよく問われる。続けて来られたのは周りから学ぶ事が多いから。その上信頼し合える仲間がいる。さて当会は千客万来。心優しく情熱ある方々、劇場と一緒に楽しいボランティア人生を試してみませんか?



富田 裕子

第1回音楽祭以来のボランティア。  
平成16年(2004年) 発足時より「宮崎県立芸術劇場ボランティア会」会長

# 6月▶7月発売

# メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) 自主事業公演チケット情報

**8月11日(日)** 開場10:30 開演11:00 **チケット発売中**

パイプオルガン ブロムナードコンサート

**0歳からのパイプオルガン**

**オルガンとはなそう**



出演者: 石橋 薫(オルガニスト)

入場料: 全席自由  
3歳以下無料 4歳以上500円  
なかよしチケット(4歳以上~大人までの2人1組)500円

終演後に、オルガンワークショップ「楽器の王様こんにちは!」を開催!  
劇場スタッフが、パイプオルガンの近くまでご案内します。  
※公演当日にご来場いただいたからの、応募になります。応募者多数の場合は、抽選になりますので、あらかじめご了承ください。

**9月24日(火)** 開場18:15 開演19:00 **チケット発売中**

**オーケストラ・アンサンブル金沢 宮崎公演**

出演者: ウラディミール・アシケナージ(指揮)  
辻井伸行(ピアノ)  
オーケストラ・アンサンブル金沢(オーケストラ)

曲 目: メンデルスゾーン: 序曲「フィンガルの洞窟」  
グリーグ: ピアノ協奏曲 イ短調 op.16  
ベートーヴェン: 交響曲 第7番 イ長調 op.92

入場料: 全席指定  
SS席 9,000円(8,100円) S席 7,000円(6,300円)  
A席 5,000円(4,500円) B席 3,000円(2,700円)  
学割 [B席のみ] 1,500円 ※ ( )内は会員価格




辻井 伸行 ウラディミール・アシケナージ

**7月6日(土)** 開場13:30 開演14:00 **チケット発売中**

飛び出すこどもブンガクシリーズ#7  
**青年団『銀河鉄道の夜』**

全席自由 入場料: 一般2,500円(会員2,300円) 学割1,000円  
セット券(一般+学割)3,000円

イベントホール **詳細は3P**

**7月14日(日)** 開場13:30 開演14:00 **チケット発売中**

Premium Select Concert #1  
**ピアノを聴く~6手の響演**

全席指定 入場料: 一般3,000円(会員2,700円) 学割1,500円  
2公演セット券/ワンドリンク付き5,000円

アイザック スターンホール **詳細は5P**

**8月24日(土) 25日(日)** 開演19:00 開演14:00 **チケット発売中**

リーディングナウ2013  
**『エピソード?』**

全席自由 入場料: 一般1,500円(会員1,300円) 学割1,000円

イベントホール **詳細は4P**

**9月8日(日)** 開場15:30 開演16:00 **会員発売7/7(日) 一般販売7/14(日)**

フレッシュアーティスト・リサイタル #1  
**藤木大地(カウンターテナー)リサイタル**

全席自由 入場料: 一般2,000円(会員1,800円) 学割1,000円  
親子割 小・中・高校生と保護者の2名セットで購入すると代金から500円引き(7月31日まで限定)

アイザック スターンホール **詳細は6P**

**9月15日(日)** 開場13:30 開演14:00 **チケット発売中**

**雅楽~神話の国で聴く悠久の調べ**

全席指定 入場料: S席3,000円(会員2,700円) A席2,000円(会員1,800円)  
学割(A席のみ)1,000円

演劇ホール **詳細は1,2P**

**9月28日(土)** 開場18:30 開演19:00 **チケット発売中**

'13みやぎの舞台芸術シリーズI  
**Classic X Jazz = !? ~21世紀は彼の時代! カブースチン!~**

全席指定 入場料: 一般2,000円(会員1,800円) 学割1,000円

イベントホール **詳細は5P**

**10月6日(日)** 開場13:30 開演14:00 **会員発売7/7(日) 一般販売7/14(日)**

無声映画とパイプオルガンのコラボレーションが、ふたたび実現!!  
**シネマ X パイプオルガン**

全席指定 入場料: 一般1,800円(会員1,500円)  
中~大学生1,200円 小学生800円

アイザック スターンホール

シリーズ(大人のためのコンサート~なるほどクラシック講座)Vol.2

**10月23日(水)** 開場11:00 開演11:30 **会員発売7/7(日) 一般販売7/14(日)**

**ウィーンに愛された作曲家たち**  
ランチタイム・コンサート 60分の気軽な音楽時間

全席自由 入場料: 一般1,000円(会員800円) 学割なし

開場18:30 開演19:00

**ウィーンに愛された作曲家たち**  
ソワレ・コンサート じっくり楽しむ120分

全席自由 入場料: 一般2,000円(会員1,800円) 学割1,000円  
親子割 小・中・高校生と保護者の2名セットで購入すると代金から500円引き(7月31日まで限定)

イベントホール

Attention (ご注意) ・学割の対象は、小学生~大学生です。・未就学児の入場はご遠慮ください(0歳からのパイプオルガンを除く) ・当日券が出る場合は500円増し(学割を除く)になります。  
・記載情報は変更になる場合があります。 ・上部枠内の10月23日(水)公演分については、平成25年度イベントカレンダーの記載内容から会場が変更となっています。

**くれっしえんど倶楽部 会員募集中**  
「くれっしえんど倶楽部」入会で、うれしい3つの特典!

**特典①チケット優先販売**  
一般発売日より早く、お好きな席を予約・購入できます。

**特典②チケット料金割引**  
劇場主催公演・宮崎国際音楽祭のチケット割引(1公演2枚まで)

**特典③情報提供サービス**  
劇場広報誌をはじめ、各種催し物の情報を随時お届けします。

■入会費 3,000円→2,000円に変更(H25.8.1~)  
※ポイントサービスはなくなります。

**高校生無料会員を新設 H25.8.1~**

宮崎県内の高校生であれば、誰でも会費無料で入会できます。  
詳細は、ホームページ等でご確認ください。

〈交通のご案内〉



●宮崎交通バス(橋通方面から)

- ①「文化公園」行き 終点「文化公園」下車→徒歩1分
- ②「宮崎神宮」行き 終点「宮崎神宮」下車→徒歩5分
- ③「国富・綾」「平和ヶ丘」または「古賀総合病院」行き「文化公園前」下車→徒歩1分
- ④「平和台」行き 「霧島3丁目」下車→徒歩4分

●JR日豊本線

- ・「宮崎駅」から: タクシー約10分
- ・「宮崎神宮駅」から: タクシー約5分・徒歩約20分

メディキット県民文化センターは、専用の駐車場はありません。  
お越しの際は公共交通機関をご利用ください。